

資料1

令和7年度 聴覚障がい児支援中核機能事業 の実施計画について



神奈川県障害福祉課

聴覚障がい児支援中核機能事業の構成

- 1 聴覚障がい児に対応する協議会の設置
- 2 聴覚障がい児支援の関係機関との連携
- 3 家族支援の実施
- 4 巡回支援の実施
- 5 聴覚障がい児の支援方法に係る研修の実施



1 聴覚障がい児に対する協議会の設置

聴覚障がい児及びその家族に対し、早期から必要な支援を切れ目なく提供できるよう、各分野の関係機関等が連携した支援体制を整備し、早期支援を推進するため、「神奈川県聴覚障がい児早期支援体制整備推進協議会」を設置している。

2 聴覚障害がい児支援の関係機関との連携

医療・保健と切れ目なく連携しつつ、既存機関との連携を強化し、聴覚障害がい児の乳児からの対応を強化する。

- (1) 市町村
- (2) 医療機関
- (3) ろう学校

(1) 市町村

療育・障害福祉担当部署に訪問し、中核機能や家族教室等の事業の紹介などを行う。

また、課題等について情報共有し、連携を深める。

[訪問先]

5月 小田原市、二宮町、大磯町含む2市4町

6月 三浦市、湯河原町、清川村含む3市6町1村

(2) 医療機関

子どもの診断や支援に関わってる県内の代表的な病院や産科へ訪問し、中核機能の設置、家族教室等の事業の紹介を行い、連携を深める。

【訪問先】

4月 塩塚小児科、塩塚婦人科
5月 県立こども医療センター
6月 助産院海とつき

(3) ろう学校

中核機能の設置、家族教室等の事業の紹介を行う。また、対応した事例について情報共有し、連携を深める。

[訪問先]

6月 県立平塚ろう学校
県立相模原中央支援学校

3 家族支援の実施

保護者に対する相談、補聴器等の情報提供、
家族教室による支援を行う。

(1) 相談支援

(2) 家族教室

(1) 相談支援

聴覚障がい児の家族を対象とした日常生活等や療育の相談、補聴器に関する情報提供をするとともに、他の支援機関への繋ぎ等を行っている。

【月別相談件数】

	4月	5月	6月
延べ	43件	41件	51件



(2) 家族教室

聴覚障がい児や家族同士が交流する場として家族教室を開催している。

今年度は毎月、2～3回、実施する。

- 家族教室を実施した後に、個々の家族の相談に対応するため、個別相談の時間を設ける。
- 同じ悩みを持つ、保護者同士気軽に話せるよう、「おしゃべり広場」を開催。
- 個別に手話を通したやりとりを学ぶため「つたえるつたわる楽しいやりとり」を開催。

(2) 家族教室

【開催状況】

- 4月19日(土)10:30～12:30 おしゃべり広場
会場:聴覚障害者福祉センター 6家族15名参加
- 4月30日(水)13:00～15:00
テーマ:「補聴援助システム(ロジャー)って?」～試聴してみよう!先輩保護者にも聞いてみよう!～
会場:おだわら市民交流センター 5家族10名参加
- 5月14日(水)13:00～15:00
テーマ:「先輩保護者と一緒に進路について話しましょう」
会場:逗子文化プラザ市民交流センター 3家族4名参加
- 5月31日(土)10:30～12:30 おしゃべり広場 特別企画ピザパーティー
会場:聴覚障害者福祉センター 7家族19人参加

家族教室参加者の声

- 人工内耳装用児の保護者の話を伺えてよかった。
- 補聴器はいろいろな音が入ってくることが分かり、ロジャーを幼稚園でも使う必要性を感じた。
- 体験を通して、色々な手話を覚えることができた。子どもも体験することで楽しみながら友達と交流できていた。
- 同じ年齢の子どもの保護者とお話し、同じ悩みを共有できて嬉しかった。

4 巡回相談の実施

保育所、幼稚園等を巡回し、職員に対して支援を行う。

- 保育所等からの要望で巡回相談を実施し、聴覚障がい児支援のコミュニケーション支援や保護者の気持ちの受け止めなどについて必要な相談支援を行う。

保育所、幼稚園

[訪問実績]

4月 幼稚園(鎌倉市)

5月 保育所(藤沢市、小田原市)
児童発達支援センター1施設

6月 保育所(藤沢市)
児童発達支援センター等3施設

(支援内容)

- ・ ロジャーがあっても、ことば自体の理解がまだ難しいので、先生と1対1で身振りや実物を使って話す方がよい。
- ・ 難聴疑似体験を実施。集中しないと聞こえなく不安。また、後ろを向いて話されると気づかないと分かった。



5 聴覚障がい児の支援方法に係る研修の実施

乳幼児が通う施設（保育所、幼稚園等）の職員を対象として、聴覚障がい乳幼児の早期発見・療育の必要性、接し方等に関する研修会を実施する。今年度は5回実施する。

- 難聴児が在籍する施設からの受講者の割合が増加していることから、難聴児が在籍する職員向けの研修会も実施する（8月実施予定）。

5 聴覚障害児の支援方法に係る研修の実施

●第1回：6月12日 14:30～16:00 参集・オンライン併用

会場：聴覚障害者福祉センター

講演「聴覚障がいの基礎知識」

講師：原 由紀 氏（北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科
言語聴覚療法学専攻教授）

定員：20名

参加者：30名（参集3名・オンライン27名）

（受講者の声）

- ・難聴といってもレベルも種類も多様にあることを知ることができてよかった。
- ・初めて補聴器をつけている子どもの担当なので、保護者と話をするときにも聴覚障がいについて理解しやすくなったと思う。

5 聴覚障害児の支援方法に係る研修の実施

●第2回：8月7日 13:00～15:00 参集・オンライン併用

会場：聴覚障害者福祉センター

講演「きこえない・きこえにくい子が安心して過ごせるように」

講師：渡辺 恵 氏

（言語聴覚士 東京都立大塚ろう学校早期相談指導員）

定員：20名